

# 日本写真学会 第26回カメラ技術セミナー

今やカメラといえば、デジタルカメラが隆盛となり、各社とも精密機械、光学、電気、情報処理の融合による新たな価値提案を行っています。そのような状況の中で、若手技術者に各種技術情報を提供し、また技術者同士の交流の場を提供しようという目的からカメラ技術セミナーが開催され、本年度で26回目を迎えます。

今回もタイムリーな情報を提供すべく、各分野にてご活躍の方々にご講演をお願いしております。また、セミナー終了後には、ささやかな懇親会も予定しております。この機会に多くの方にご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

## 【第26回カメラ技術セミナー】

主催：(一社)日本写真学会 カメラ技術研究会

日時：2018年10月24日(水) 9:50-19:00 ※懇親会含  
(9:30 受付開始、9:50 開会)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター  
センター棟 4F セミナーホール  
東京都渋谷区代々木神園町 3-1  
(小田急線参宮橋駅徒歩7分、  
地下鉄千代田線代々木公園駅徒歩10分)  
<http://nyc.niye.go.jp/>

参加費：正会員・賛助会員・協賛学協会員 10,000円、  
非会員 11,000円、学生会員 3,000円、  
学生非会員 4,000円

### 申込方法：

- ・写真学会のホームページからお申し込みください。
- ・写真学会事務局にE-mail または Fax でもお申し込みいただけます。  
件名に「第26回カメラ技術セミナー参加」と明記の上、参加者氏名、  
所属(勤務先 / 通学先)、連絡先(住所、Tel / Fax、E-mail)、参加区分をご連絡ください。
- ・参加費は、当日会場にて現金でお支払いください。
- ・申込締切 2018年10月17日(水)

## 【講演内容】

### 10:00~10:35 1. SIGMA Art レンズの企画とその背景

株式会社シグマ 商品企画部 商品企画課

大曾根 康裕 氏

2012年に発表し、今もカメラ・レンズ愛好家から高い評価を頂いているSIGMA-SGVシリーズの交換レンズ群の中で、特に光学性能で評価の高い「Artライン」の製品に関する企画、仕様とその背景について説明したい。

### 10:40~11:15 2. 超望遠高倍率ズームレンズ 18-400mm/3.5-6.3 の開発

株式会社タムロン 光学開発本部 光学開発一部  
株式会社タムロン 映像事業本部

仲澤 公昭 氏  
戸谷 聰 氏

タムロンは、高倍率ズームレンズのパイオニアとして、これまでも様々な特徴に満ち溢れたレンズを開発し、市場供給してきた。今回、最大ズーム比(22.2倍)である広角側18mmから望遠400mmまでのレンズを開発し市場供給したので、本講演では、開発に至る経緯、レンズの目指した性能と克服した課題について解説する。



“国立オリンピック記念青少年総合センター”，<http://nyc.niye.go.jp/train/>

11:25～12:00 3. IJ フォトプリンター imagePROGRAF PRO シリーズの高画質化技術とデジタル一眼カメラ EOS との連携技術

キヤノン株式会社 インクジェットデバイス開発センター インクジェットデバイス画像プロセス第二設計部  
田鹿 博司 氏

IJ フォトプリンターは、銀塩写真の代替になる事を期待されており、そのためにはカメラの撮影データを忠実に再現する必要がある。キヤノンではデジタル一眼カメラ EOS と imagePROGRAF PRO プリンタを高度に連携する事で写真に必要な立体感や質感などの表現も可能にしてきた。本セミナーでは、その最新の写真高画質化技術を紹介する。

13:00～13:35 4. 「高画素×高速+多機能」を実現した D850 の開発

株式会社ニコン 映像事業部 開発統括部 馬島 章充 氏

レンズ交換式デジタルカメラ「D850」は高画素化×高速化の技術を搭載、多彩な機能で表現領域の拡大を目指し、昨年 9 月に発売した。本製品の特長や魅力について、開発の狙い、製品コンセプトや新規機能について説明する。

13:45～14:20 5. バウンス撮影の自動化を実現したスピードライト 470EX-AI の開発

キヤノン株式会社 ICB 統括第三開発センター ICB 統括 34 開発部 榎山 律夫 氏

スピードライト 470EX-AI は、バウンス撮影を自動化する「AI バウンス機能」を世界で初めて搭載した。ストロボ初心者から、バウンスを駆使した写真表現を手軽に楽しみたいという中上級者までの幅広いユーザーに使ってもらえる製品を目指した、開発の背景と技術の取り組みについて紹介する。

14:25～15:00 6. LUMIX G9 PRO のデザイン開発

パナソニック株式会社 アプライアンス社 デザインセンター 佐々木 厚 氏

パナソニックは撮影者の意思に呼応するような機動力と操作性を備えたハイエンド・ミラーレス一眼 LUMIX G9 PRO を発表した。本講演では G9 PRO がどのようにして誕生したかを同機のデザイン開発を軸に開発初期のコンセプト創出からデザイン実現までの経緯を紹介する。

15:15～15:50 7. ソニー・イメージセンサーの技術進化の方向性

ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社 イメージングシステム事業部 IS 設計開発 1 部  
角本 兼一 氏

ソニーのイメージセンサーは、市場のニーズに対応し付加価値を生み出す技術開発によって、人々に感動を与える映像文化と安心・安全・高効率な社会の実現に大きく貢献してきた。今後、イメージセンサーは画像認識の常識を覆す技術進化によって様々な社会課題の解決に貢献をしていく。その技術進化の方向性について紹介する。

15:55～16:30 8. CIE の新しい演色評価法 — 色忠実度指数 —

千葉大学名誉教授 矢口 博久 氏

現在の CIE 演色評価指数 Ra は LED 等の新しい照明光源では主観的な評価と合わないことが時々ある。そこで、CIE では 2017 年に新しい演色評価法として色忠実度指数 Rf を発表した。Rf では、参照照明光下と試験照明光下での試験色票の色の見えの忠実性の尺度となる色差計算のための色空間、試験色票の増加など改良がされた。

- ※ 昼食は、施設内レストランの昼食券を無料配布しますのでご利用ください。
- ※ 講演終了後、懇親会(17:00-19:00)を開催いたします。参加無料ですので、ぜひ最後までご参加ください。
- ※ テーマおよび講師については、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

【問合せ先】

一般社団法人 日本写真学会事務局

Tel : 03-3373-0724 Fax : 03-3299-5887

E-mail : spstj@pht.t-kougei.ac.jp

(イベント案内) [http://spstj.org/event/nissya\\_e.html](http://spstj.org/event/nissya_e.html)